

NPO フォーラムパートナーズ

平成31年度(2019年度)定期総会議事

日時：令和元年5月29日(水) 午後3時00分～4時30分

場所：幕張ベイタウン・コア 講習室

議事

開会（挨拶：牛山氏）

出席者および委任状の確認（報告：米加田）

議長、書記ならびに議事録署名人選出（各1名）

（議事録には議長と議事録署名人として書記と議事録署名人が記名・捺印）

議案審議（進行：議長）

承認（進行：議長、承認：出席者会員）

閉会（閉会宣言：議長）

議案

1. 平成30年度事業実績報告（牛山氏）
2. 平成30年度決算報告（収支計算書、貸借対照表、財産目録、会計監査報告）
（米加田、遠藤氏）
3. 平成31年度事業計画（牛山氏）
4. 平成31年度収支予算（米加田）
5. 新規役員の紹介と重任役員の確認（議長）
6. その他

ドキュメント

1. 平成30年度事業活動報告
2. 平成30年度収支計算書
3. 平成30年度貸借対照表
4. 平成30年度財産目録
5. 平成30年度会計監査報告
6. 平成31年度年間事業活動計画
7. 平成31年度収支予算書
8. 平成30年度役員名簿
9. 平成31年度役員名簿（候補）

以 上

平成30年度事業活動報告

1. 事業活動の総括

NPOとして発足して15年目となり、引き続き「千葉発世界へ」の基礎を固めつつ「異文化体験、理解、そして共生」「地域レベルで出来る国際交流及び技術協力」「地域振興、開発と環境保全」の活動理念をキーワードとして事業を展開してきている。引き続き千葉市国際交流、千葉県国際交流（コンベンションセンター）等の機関、自治体およびJICA関連機関、JOCV、幕張国際交流他の国際交流関連団体、在日公館等の団体との連携強化を計っている。それにより、当NPOの国際協力関係のネットワークは引き続き拡大している。正規会員、賛助会員、サポーターの一部はシンクタンク、タスクフォースチームとして活動の核となり、企画、プログラムを策定、協働事業が可能な関連団体との連携拡大を図り、海外・国内に於いて多岐多様な活動を実施している。その結果、受益団体等へは「相乗効果」、「波及効果」、そして活動の「ユニーク性」を強調しており、その特殊で更に独自の理念は各関係者から評価されて来ている。

2. イベント開催および参加

講演会と関連イベント

講演内容等、詳しくは当NPOフォーラムパートナーズのホームページ参照。

例会、講演会は、美浜区打瀬「コア」に於いて開催された。

4月：総会

5月：国際フェスタへの参加：5月27日神田外国語大学に於いて、フリーマーケットと併せて展示、デモンストレーションが開催された。当NPOはパンフレット展示、出版物の公開、千葉の産物、陶器の販売を行った。

5月29日「キューバ共和国の紹介」を開催した。講師は富田君子さん。又カルロス・セスペデス氏によりキューバ、ラテン、日本のポピュラー音楽がギター演奏と歌で披露された。

6月：6月17日「スリランカの紹介」の講演会を開催した。講師はスリランカ人のメルビン・サジー夫妻。夫妻は、現在千葉県山武市の市役所の職員として勤務の傍ら、山武市グローバルセンターを立ち上げて、スリランカ～日本間の文化交流活動を推進している。

7月：7月29日「パネルディスカッション」を開催した。パネラーは荒川オクサナ氏（ロシア）、ハナシロスサナ氏（ペルー）、マノジ・ウイリアムライ氏（ブータン）の3名。

9月：9月30日「パラオ共和国の紹介」の講演会を開催した。講師は当初大使を予定していたが変更され、特定非営利活動法人・日本パラオ国際交友協会の中西正樹事務局長になった。

10月：10月30日「コンゴ民主共和国」の講演が開催された。講師の八角幸雄氏はJICA専門家等を経て、外務省コンゴ大使館次席館員として、当時の第2次コンゴ戦争に於いて脱出オペレーションに尽力された。

フランス語圏に於いて30年間の在外勤務の実績があり、現在アフリカ協会の特別研究員として活躍されている。今回、ノーベル平和賞受賞決定に大きな影響を及ぼしたと

言われている映画「女を修理する男」の日本語版字幕の翻訳を担当した。

12月：12月2日「中国の紹介」が開催された。千葉市日中友好協会を主宰している布施貴良会長により、緑化事業で訪れた最近の中国遼寧省北票市瓦房村、瀋陽市、撫順市の報告があった。

12月23日「アフリカの紹介」の講演が開催された。講師大津司郎氏による主にアフリカ紛争地帯を中心とした取材の裏話、そしてTV等に紹介されなかった映像、アフリカ通との対談余談などの報告がなされた。

2月：2月24日「タンザニアの紹介」の講演が開催された。講師の熊谷文香氏は海外協力隊員、JICA専門家としてマラウイ等を経てザンビア、タンザニアに於いて勤務しており、今回は当NPOでまだ紹介されていないタンザニアに焦点を当て、国の情報、当地での勤務、生活状況をお話して頂いた。

3月：3月31日「ケニヤ共和国」特にマサイの紹介の講演が開催された。講師のマサイ族出身のルンペ氏によりケニヤ共和国の基礎情報及びマサイ族が紹介された。OPCの露木氏に解説と通訳をお願いした。

その他

- ・パキスタン日本交流協会より料理紹介の申し込みがあった。
- ・ケニヤに学校建設で準備を行っている志田誠司氏に協力、準備報告を開催した。
- ・OPCとの連携：OPCとは連携して、JICA関連事業の案件の情報交換を行っている。派遣専門家、技術協力コンサルタントを講師として招いた。
- ・キューバ、リトアニア、キルギス、エリトリア、ジブチ、スコットランド他多数の大使館、在日公館から国の紹介、事業、文化関連の催しに招待を受けた。

3. 事業活動の成果と課題

- ・JICA派遣専門家OB会を併合した。今後当NPOに参加されていない専門家OBに呼びかけNPOの拡充を図りたい。
- ・開催された講演会・フォーラム、外国の文化・料理紹介に関しては概ね好評であった。特にアフリカのフランス語圏からの紹介がなされて、これからも推し進めていきたい。
- ・各国の紹介に関しては、参加者からの意見は、レベル、内容、関心事項等さまざまであり、特に講演に関しては話の内容が全員の要望に応えることが難しい面があった。会員の種々活動への参加、プログラムは多様化してきている。
- ・サポーター、アソシエイトメンバーが参加する機会は増加しているが会員の他の機関への参加は減少してきた。
- ・自薦（キルギス、スコットランド他）他薦（幕張千葉国際交流）の講演、その他催しへの招待されるケースが多くなり、当NPOの約8割は他の機関、団体への参加となっている。幕張交流の催しに参加する場合賛助会員として会費が必要。
- ・千葉市長と千葉市の件に関して話し合いがもたれた。当NPOより「モノレールの延長」、「美浜園の蛍放流」、「マリンデッキの電球の復元」「農地の拡大」が提言され検討された。
- ・関連団体、機関からの招待が多い反面、招待される場合、当NPO会員からの参加者、賛同者は少なかった。理由は：

- ・併合されたJICA専門家OBを始め会員の年齢が高くなり、参加がおっくうになってきている。
 - ・催し等で、地域的な範囲で制約問題があり、県全体をカバーすることの是非、また開催場所を検討する必要がある。
 - ・連絡時のメール使用が不可能の会員が多くなってきている。
 - ・会員が県下に点在している。交通の便が不便で会場まで来るのに不便。
 - ・使用している「コア」の会場の使用日・予約日が限定されているため、大使館等外国公館を招いてのイベントの際、日時の調整が困難となっている。
-
- ・現在は一部の限られたスタッフで活動方針、計画、企画、広報、渉外、講演者の発掘と人選、司会進行、撮影、会場設営、報告書作成、財務管理、HP掲載を行っている。その為実施が物理的に難しくなって来た。特にイベント開催には企画、人材発掘、報告書作成に応援、協力が必要である。
 - ・今後は責任を分担して、メンバー全員総参加のフォーラムとする。
 - ・存続する場合、若い世代にバトンタッチをするか、イベント回数を大幅に削減することを検討する。

以 上

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

平成31年4月6日

特定非営利活動法人 フォーラムパートナーズ

代表理事 牛山 勝

財務担当理事 米加田 靖彦

科 目	金 額(単位：円)		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金	0		
会費	130,000	<u>130,000</u>	
2 事業収入			
自主事業収入	0		
助成金事業収入	0		
受託事業収入	0	<u>0</u>	
3 寄付金収入	335,873	<u>335,873</u>	
4 雑収入	4	<u>4</u>	
<u>当期収入合計 (A)</u>		<u>465,877</u>	
<u>前期繰越収支差額</u>		<u>399,906</u>	
<u>収入合計 (B)</u>			<u>865,783</u>
II 支出の部			
1 事業費			
自主事業費	231,193		
助成金事業費	0		
受託事業費	0	<u>231,193</u>	
2 管理費(共通経費)			
旅費交通費	12,230		
通信運搬費	46,886		
印刷製本費	1,820		
消耗什器備品費	0		
消耗品費	25,017		
福利厚生費	0		
外部団体会費	0		
会議費	1,625		
雑費	1,080		
寄付金	0		
租税公課	200	<u>88,858</u>	
<u>当期支出合計 (C)</u>			<u>320,051</u>
III 当期収支差額 (A - C)			<u>145,826</u>
次期繰越収支差額 (B - C)			<u>545,732</u>

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成30年度末（平成31年3月31日）現在

平成31年4月6日

特定非営利活動法人 フォーラムパートナーズ

代表理事 牛山 勝

財務担当理事 米加田 靖彦

科 目・摘 要	金 額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	75,184		
預金	470,548		
未収金	0		
<u>流動資産合計</u>		<u>545,732</u>	
2 固定資産			
<u>固定資産合計</u>		<u>0</u>	
<u>資産合計</u>			<u>545,732</u>
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払い金	0		
預り金	0		
<u>流動負債合計</u>		<u>0</u>	
2 固定負債			
長期借入金	0		
<u>固定負債合計</u>		<u>0</u>	
<u>負債合計</u>			<u>0</u>
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		399,906	
当期正味財産増加額		145,826	
<u>正味財産合計</u>			<u>545,732</u>
<u>負債及び正味財産合計</u>			<u>545,732</u>

平成30年度財産目録
平成31年3月31日現在

平成31年4月6日
特定非営利活動法人 フォーラムパートナーズ
代表理事 牛山 勝
財務担当理事 米加田 靖彦

科 目・摘 要	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	75,184		
預金 千葉銀行五井支店普通預金	470,548		
未収入金			
未収入金	0		
未収入年会費	0		
その他の流動資産	0		
<u>流動資産合計</u>		<u>545,732</u>	
2 固定資産			
<u>固定資産合計</u>		<u>0</u>	
<u>資産合計 (A)</u>			<u>545,732</u>
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	0		
<u>流動負債合計</u>		<u>0</u>	
2 固定負債			
<u>固定負債合計</u>		<u>0</u>	
<u>負債合計 (B)</u>			<u>0</u>
差引正味財産			
前期繰越正味財産	399,906		
当期正味財産増加額	145,826		
<u>次期繰越正味財産 (A - B)</u>		<u>545,732</u>	<u>545,732</u>

平成30年度会計監査報告

監査の結果、会計帳簿等の関係書類が適正に処理され、決算報告が適正であると認めます。

平成31年4月8日

特定非営利活動法人フォーラムパートナーズ

監事 遠藤 英彰 印

平成31年度年間事業活動計画

1. 国内事業

- (1) 国の紹介：ガンビア共和国等、過去実施していない国を優先して、その国の大使館、交流協会と連携して開催。JICAから送られてくる出前講座等の国を追加する。
- (2) 異文化体験海外研修旅行：希望があれば実施。費用を削減する必要上、民間で行っているツアーへの参加を検討する。
- (3) フォーラム開催：国際問題をテーマとした講演会、展示会、研修会、パネルディスカッション、デモンストレーションの開催（国の紹介と同時）
- (4) シリーズ「世界の食卓」：国の紹介及び文化紹介と同時に行う。（その他イスラムのフェスティバルには招待があれば参加）
パキスタンから開催申し出を受けている。
- (5) 東国吉の里山プロジェクト（タケノコ狩り、ぶどう狩り、ホテル観賞を含む）への参画（参加者が少ない場合見送り）
- (6) 翻訳、通訳事業への取り組み。オリンピックへの通訳等に参画。
- (7) 地方自治体、在日海外公館、国際交流のNPO、JICA、JOCV、他の国際協力団体等の「催し」への参画
- (8) グローバルフェスタへの参画（予定）：5月17日、千葉県、JICA、UNICEF、今年は神田外国語大学で開催（参加者がいなければ辞退）
- (9) ホームビジット：毎年恒例となった千葉大、千葉市からの要請があれば受け入れる。

2. 海外技術協力コンサルタント事業

- (1) JICAコンサルタント・専門家派遣

3. 国内コンサルタント事業

- (1) JICA、UN等の案件
- (2) 県、市の委託事業（翻訳・オリンピックを控えた通訳）
- (3) 在日大使館との連携：協会設立企画、イスラム国交流フェスタ、ケニヤ学校設立

4. 通訳・翻訳事業

- (1) 市主催の研修へ参加
- (2) オリンピック、パラリンピックの通訳参加

5. 例会：月最後の火曜日、もしくは週末（5月は総会、8月、1月は休み）

講演会等と必要があれば同時に開催する。

6. 関係機関との連携事業

- (1) 既に催しを開催した国々の公館
- (2) 日中友好協会・千葉
- (3) 国際交流まくはり
- (4) 東国吉里山の会（石井さん経由）
- (5) 日本イスラミック協会
- (6) OPC
- (7) JICA、JOCV
- (8) インターナショナル他外国の学校

7. 事業展開のため組織強化と整備

- (1) パンフレットの英文改訂
- (2) サポーター、アソシエイトメンバー、参与の拡充とネットワークの整備
- (3) 関連団体の拡大及びアドレスをホームページへ掲載
- (4) 新規会員特に若い世代の拡充

備考

- 以下を昨年度に引き続きキーワードとする
 - 「異文化理解、異文化体験、多文化共生のためのプロジェクト」
 - 「地域開発、地域振興と環境保全」
 - 「国際交流と国際協力」及び「技術協力」

- ### 懸案事項
- (1) 催しの頻度を少なくする
 - (2) 元号から西暦に変更

平成31年度収支予算書

特定非営利活動法人 フォーラムパートナーズ

会計期間 自平成31年4月1日 ~ 至令和2年3月31日

科目・摘要	金額 (単位: 円)		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金	0		
会費	130,000		
<u>会費・入会金収入合計</u>		<u>130,000</u>	
2 事業収入			
海外研修旅行事業収入	500,000		
フォーラム、講演会事業収入	0		
世界の家庭料理紹介事業収入	60,000		
<u>事業収入合計</u>		<u>560,000</u>	
3 雑収入	4		
<u>雑収入合計</u>		<u>4</u>	
<u>当期収入合計 (A)</u>			<u>690,004</u>
<u>前期繰越収支差額 (B)</u>			<u>545,732</u>
<u>収入合計 (A + B)</u>			<u>1,235,736</u>
II 支出の部			
1 事業費			
海外研修旅行事業費	500,000		
フォーラム、講演会事業費	168,000		
世界の家庭料理紹介事業費	102,000		
外部イベント参加費用	10,000		
<u>事業費合計</u>		<u>780,000</u>	
2 管理費			
通信費	47,000		
印刷費	5,000		
消耗品費	20,000		
旅費交通費	15,000		
雑費	3,000		
会費(県、市等の団体加入)	10,000		
寄付金	0		
租税公課	0		
<u>共通管理費合計</u>		<u>100,000</u>	
3 予備費	0		<u>0</u>
<u>当期支出合計 (C)</u>			<u>880,000</u>
III 当期収支差額 (A - C)			<u>-189,996</u>
次期繰越収支差額 (A + B - C)			<u>355,736</u>

(平成31年度予算について)

I. 収入の部

1. 会費・入会金収入

- ・入会金：規約上は2,000円になっているが最近では徴収していないので0円とする
- ・会費：10,000円×13名で計算

2. 事業収入

- ・海外研修旅行事業収入：100,000円×5名で計算
- ・フォーラム、講演会事業収入：食事会等特別な出費が発生するもの以外最近参加費を徴収していないので0円とする
- ・世界の家庭料理紹介事業収入：1,500円×20名×2回で計算

3. 雑収入

- ・平成30年度の預金利息の実績(4円)と同額の4円を計上

* 助成金収入は貰えるかどうか分からないので未計上

* 受託事業収入はあるかどうか分からないので未計上

II. 支出の部

1. 事業費

- ・海外研修旅行事業費：海外研修旅行事業収入と同額を計上

- ・フォーラム、講演会事業費：

1回当たりの費用見積を下記の通りとする

講師謝金・交通費等：20,000円

会場使用料：0円

菓子・飲み物購入代金：3,000円

パンフレット・資料等作成代金：1,000円

1回当たりの費用合計：24,000円

年7回開催するものとして計算

- ・世界の家庭料理紹介事業費

1回当たりの費用見積を下記の通りとする

講師謝金・交通費等：20,000円

会場使用料：0円

材料費：30,000円

パンフレット・資料等作成代金：1,000円

1回当たりの費用合計：51,000円

年2回開催するものとして計算

- ・外部イベント参加費用

グローバルフェスタ等を想定

平成21年度実績は、写真作成費3,000円、パンフレット作成費6,620円

これを参考にして念のため10,000円を計上

2. 管理費

- ・通信費：平成30年度実績は46,886円だった

これを参考にして、47,000円を計上

- ・印刷費：平成30年度実績は1,820円だったが、パンフレットの作成等も考えられるので5,000円を計上

- ・消耗品費：平成30年度実績(25,017円)より少し少なめの20,000円を計上

- ・旅費交通費：平成30年度実績(12,230円)より少し多めの15,000円を計上

- ・雑費：平成30年度実績(1,080円)より少し多めの3,000円を計上

- ・会費(県、市等の団体加入)：平成30年度の実績は0円だが、以前の実績も参考にして10,000円を計上

- ・寄付金：平成30年度実績は0円なので0円で計上

- ・租税公課：0円で計上

3. 予備費

- ・予備費は計上せず